

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部子育て支援課	■担当係	育児支援係
■評価事業名称	ファミリーサポートセンター事業		
■事業開始年度	平成15年度		
■評価事業コード	400700 - 104	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり	
	■基本施策	01 子育て環境の充実	
	■施策	03 地域における子育て支援の推進	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称	子ども・子育て支援事業計画		
■事業の目的と概要	子育てを応援できる人と応援してほしい人が会員登録し、センターのアドバイザーが条件や要望に合った会員を紹介する育児ネットワーク事業。通院、買い物、リフレッシュ等の利用が可能である。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	ファミリーサポートセンター事業	ファミリーサポートセンター登録会員	・会員数680人・活動件数600件	・会員数666人・活動件数501件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	433	4,035	4,271	522	
人件費	5,357	4,661	4,607	4,213	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,790	8,696	8,878	4,735	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	マッチング回数	43件(100%)	23件(100%)	22件(100%)	48件(100%)	児童の預かり等の援助希望者に対し、支援できる人を紹介し、実際に援助の提供を受けた割合(新規依頼分)
02	会員数及び利用件数	702人、1,618件	643人、1,531件	644人、748件	666人、501件	会員数 450人、年間利用件数1600件以上

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

03	会員数コスト	8.24千円	13.5千円	13.79千円	12.86千円	フルコスト/会員数
04	活動件数コスト	3.57千円	5.67千円	11.87千円	17.1千円	フルコスト/利用件数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

サポートを必要とするおねがい会員の家庭の需要に対し、マッチングができた。

問題点・課題等

おねがい会員からの需要が特定のあずかり会員に集中逼迫しており、あずかり会員数の増加及びあずかり会員のあずかりに係る質の確保が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

子育てを応援できる人と応援してほしい人の相互援助活動に関する連絡調整を行う事業であり、今後も継続が必要である。おねがい会員に比べあずかり会員が不足しているため、チラシ配布や知人等の紹介によりあずかり会員の確保を図る。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了